

国道1号北勢バイパス 要望書



石井国土交通大臣
石原菰野町長 森四日市市長
永田北勢国道事務所長 勢田中部地方整備局長

平成30年 11月

北勢バイパス建設促進期成同盟会

会長 森 智広

四日市商工会議所

会頭 種橋 潤治

要 望 書

平素は、北勢バイパスの整備促進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

国においては、防災・減災対策や老朽化した社会インフラ対策など、国土強靱化の推進を重点的に取り組まれております。

私ども同盟会会員市町といたしましても、防災・減災対策や道路施設の老朽化対策など、住民生活の基盤となる安全・安心なまちづくりに積極的に取り組んでいるところです。

四日市市を中心とした北勢地域は、石油化学・半導体・自動車をはじめとした多様な産業が集積し、国際拠点港湾四日市港と高速道路網が相まって、我が国の経済・物流を支える拠点地域となっています。

しかしながら、日常的に発生している国道1号、23号の渋滞は、経済活動の阻害要因となり、生活環境の悪化にもつながっています。

また、平成26年3月に四日市市等の沿岸市町が、南海トラフ地震津波避難対策の特別強化地域の指定を受けており、防災の面からも津波浸水被害を受ける恐れのある国道1号、23号に代わる緊急輸送道路（命の道）として、北勢バイパスの早期整備が必要です。

一方、北勢バイパスが開通した区間においては、沿線企業の設備投資や新たな雇用創出などのストック効果が現れています。さらに、2021年に「三重とわか国体」が開催されることもあり、地域経済の発展や広域的な道路ネットワークの形成のために、ますます重要性が増しております。また、三重県全体を考えた場合、県内の南北軸として北勢バイパス及び中勢バイパスが共に開通することで、県全体としての整備効果も最大限発揮されます。

よって、北勢バイパスの整備をはじめ、産業活動と住民の安全・安心な生活を支える各種道路整備並びに道路インフラの老朽化対策に必要な予算を確保されるよう右記の通り強く要望いたします。

記

- 1 北勢バイパスは、新たな道路ネットワークの構築による経済の好循環を図り、新規企業の進出や企業の設備投資などの産業面のストック効果を更に高めることから、早期全線開通に向けて必要な事業費を確保し、市道日永八郷線～国道477号バイパス間の開通見通しの公表を行うこと。また、鈴鹿四日市道路の早期事業化に着手すること。
- 1 5年に1度の道路橋等定期点検が1巡目を終えることも踏まえその結果に基づく道路の老朽化対策及び地方が必要とする道路整備を計画的かつ着実に進めるため、用途を限定しない平成30年度補正予算を早期に編成し、さらに、道路関係予算総額の拡大及び老朽化対策予算の別枠確保を図ること。

北勢バイパス建設促進期成同盟会 会長 森 智広

会員市町	四日市市長	森 智広	鈴鹿市長	末松 則子
	朝日町長	栗田 康昭	川越町長	城田 政幸
	菰野町長	石原 正敬		

四日市商工会議所

会頭 種橋 潤治

北勢バイパスの早期整備について

【事業中区間】

○市道日永八郷線～国道477号バイパス

開通見通し(目標)の設定

北勢バイパスが国道477号バイパスを通じて、新名神と早期につながることによって、道路ネットワークが飛躍的に向上

○国道477号バイパス～国道1号(四日市市采女町)

事業促進

○鈴鹿四日市道路(国道1号(四日市市采女町)～中勢バイパス(鈴鹿市稲生町))

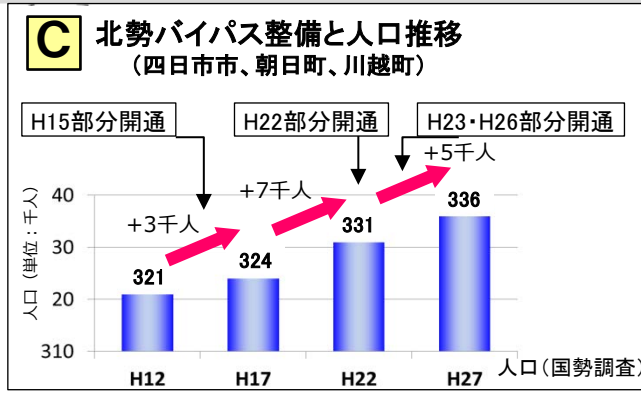
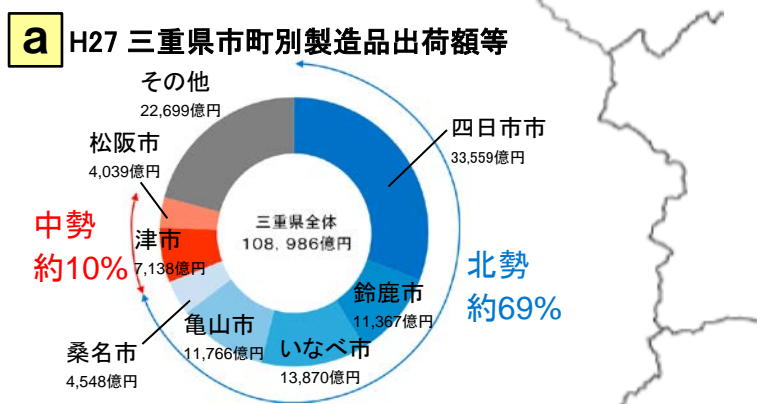
早期事業化

三重県内の道路の南北軸を形成(国道23号とダブルネットワーク化)



北勢バイパスの早期整備による効果は絶大！

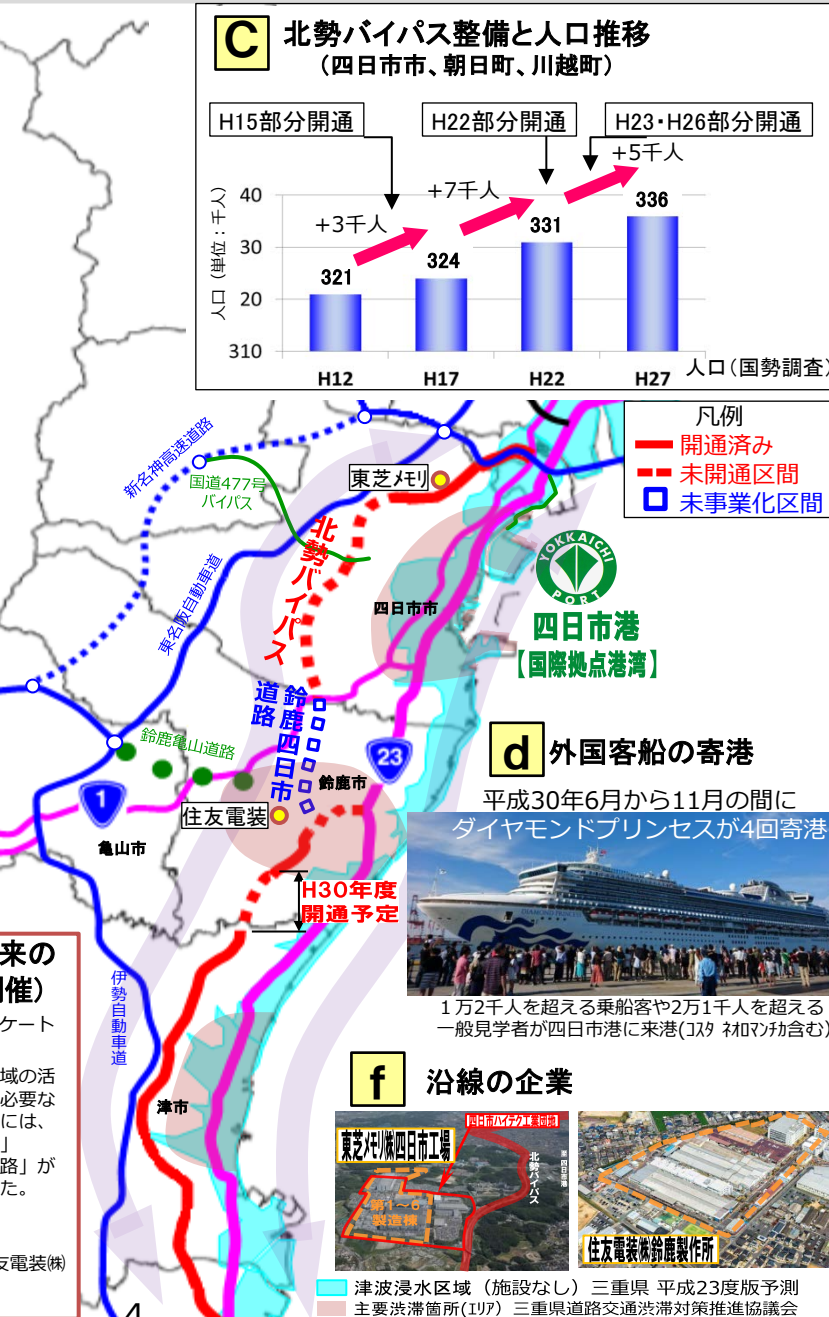
- (1) 三重県の北部(北勢地域)に多くの産業が集積する中で、特に四日市市・鈴鹿市は**産業・物流の拠点地域**。(下記 a, 下記 bを参照)
 - (2) 沿線に企業(工場)の新規立地や設備投資が進展し、**地域経済の発展や人口の増加等、ストック効果が発現**。(下記 C, 下記 f を参照)
 - (3) 国道1号、23号の渋滞緩和は、円滑な**産業・物流活動を促進し**、生活環境も向上。
 - (4) 四日市港(国際拠点港湾)の**利用促進、国際競争力の強化**。(下記 dを参照)
 - (5) 北勢バイパスと中勢バイパスの接続は、三重県内の南北主要幹線道路の**ダブルネットワーク形成につながり、三重県全体への波及効果大**。(下記 eを参照)
- ➡ **生産性向上による成長力の強化！**
- (6) 南海トラフ巨大地震による**津波浸水被害が想定**される国道1号、23号に代わる**緊急輸送道路として機能**。
- ➡ **国土強靱化に寄与！**



b 全国の都市の中で第9位

H27 製造品出荷額等の市町ランキング

順位	市	製造品出荷額等
1	豊田市	14兆1666億円
2	川崎市	4兆2884億円
3	市原市	4兆2145億円
4	横浜市	4兆1394億円
5	倉敷市	4兆186億円
6	堺市	3兆7416億円
7	大阪市	3兆6870億円
8	名古屋市	3兆5479億円
9	四日市市	3兆3559億円
10	神戸市	3兆1258億円



e 北勢・中勢における地域活力の現状と将来の可能性を考えるシンポジウム(H30.9.8開催)

一般来場者アンケート結果(抜粋)

「北勢・中勢地域の活力向上のための必要な道路」との問いには、「北勢バイパス」「鈴鹿四日市道路」が50%以上あった。

パネルディスカッション：鈴鹿商工会議所、三重交通㈱、住友電装㈱
 鈴鹿市長、津市長、四日市市長
 一般来場者：約650名

f 沿線の企業

東芝メレ㈱四日市工場
 住友電装㈱鈴鹿製作所

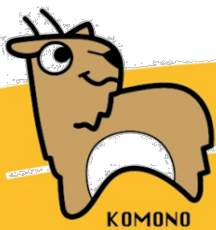
津波浸水区域(施設なし) 三重県 平成23年版予測
 主要渋滞箇所(11ヶ) 三重県道路交通渋滞対策推進協議会

北勢バイパス建設促進期成同盟会



SUZUKA

©TEZUKA PRODUCTIONS



KOMONO



YOKKAICHI



ASAHI



KAWAGOE

ひらく つながる みえの未来へ



北勢バイパス

国道477号 菰野バイパス

要 望 書



平成30年10月27日(土) 四日市インターアクセス道路「四日市湯の山道路」開通セレモニー

平成30年11月

四日市インターアクセス道路整備促進期成同盟会
四 日 市 商 工 会 議 所

要 望 書

平素は、国道477号四日市湯の山道路、菰野バイパスの事業促進に格段のご高配とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

四日市インターアクセス道路は、国際拠点港湾である四日市港や四日市市の中心市街地、菰野町を結び、東名阪自動車道や国道1号、23号など三重県北勢地域の幹線道路と一体となり、地域経済を支える道路として、また、住民生活を支える生活関連道路として、さらには湯の山温泉をはじめとする観光、景勝地へのアクセス道路として、地域の活性化を支える重要な道路であります。今年度には重要な物流拠点を結ぶ幹線道路やアクセス道路を指定する「重要物流道路制度」が創設され、国際拠点港湾の四日市港と新名神高速道路を結ぶ四日市インターアクセス道路は、国道1号北勢バイパスや東名阪自動車道等とともに重要物流道路の役割を担うものと考えられます。

このようななか、整備が進められている新名神高速道路三重県区間については、新四日市ジャンクションから亀山西ジャンクション（仮称）間の平成30年度供用が目前に迫り、菰野インターチェンジ（仮称）へのアクセス道路として必要不可欠な四日市湯の山道路については、これまでの格別のご配慮により、10月27日（土）に全線開通しました。同盟会一同、深く感謝申し上げます。

また、菰野インターチェンジ（仮称）隣接地においては、土地地区画整理組合による約17万㎡の工業系用地造成計画を具現化し、企業誘致を行うことで、産業発展に大いに期待されています。菰野インターチェンジ（仮称）から工業系用地造成地のアクセス道路として地域産業の生産性向上を支え、湯の山温泉へのアクセス道路として観光シーズンの渋滞緩和に寄与して観

光振興を支えるためには、菰野バイパスが必要不可欠であるので、特段の配慮を賜りますようお願いいたします。

記

- 一 地方が真に必要な道路整備、管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設を検討するとともに、平成31年度当初予算において道路関係予算は所要額を確保すること。また、用途を限定しない平成30年度補正予算を早期に編成すること。
- 一 重要物流道路制度を契機とした地域高規格道路等のネットワークの見直し及び補助事業による重点整備を図ること。
- 一 四日市湯の山道路と一体となり整備効果を発揮する菰野バイパスの整備に必要な予算を確保すること。

四日市インターアクセス道路整備促進期成同盟会

会 長 菰野町長 石原 正敬

副会長 四日市市長 森 智広

四日市商工会議所

会 頭

種橋 潤治

生産性革命を後押しする四日市インターアクセス道路 ～四日市湯の山道路、菰野バイパス～

物流の効率化が民需拡大を誘発し、国際競争力が強化されます。

多様な産業が集積する三重県北勢地域

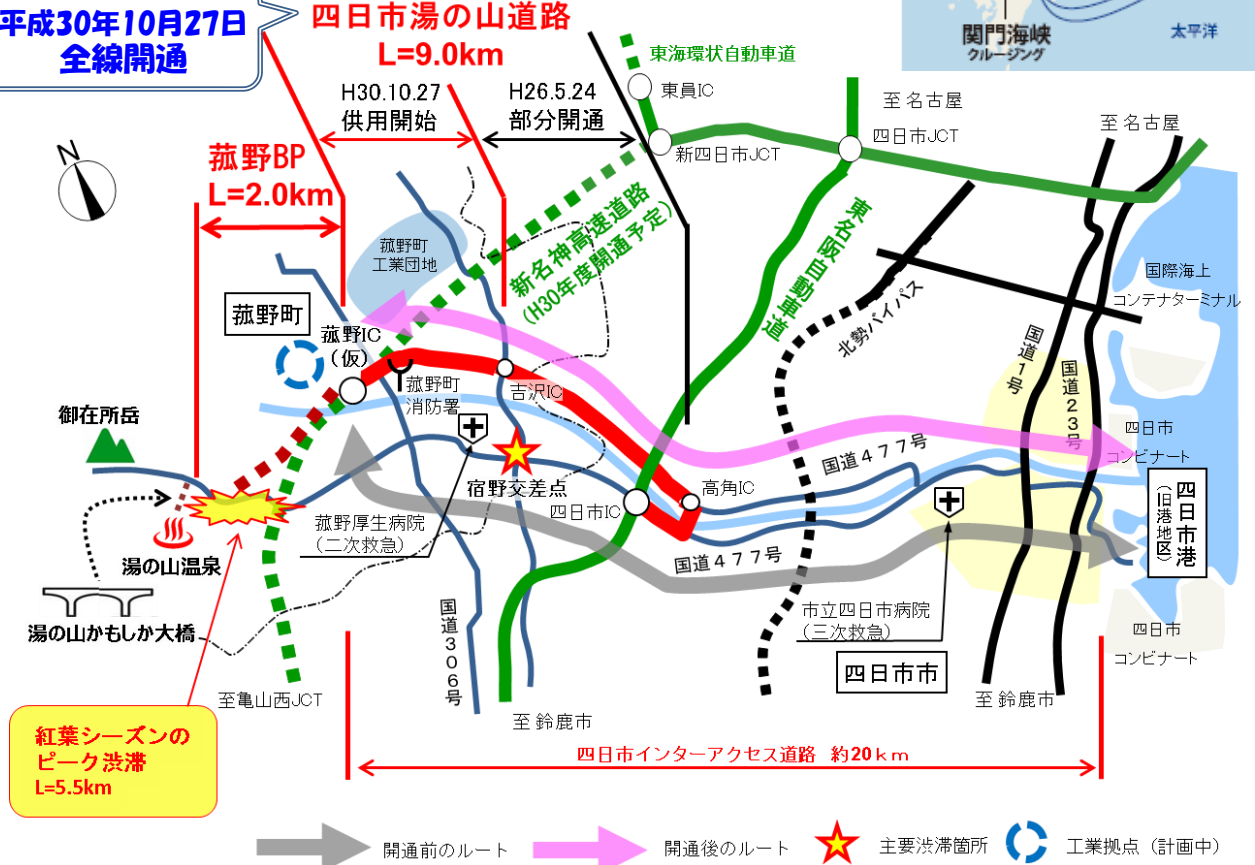
石油化学、高度部材、電子、デバイス、半導体、自動車、自動車関連、電機、機械、食品……

四日市港と四日市市街地、東名阪、新名神を連結し、物流を効率化！

- 民需開発効果の誘発
- 国際競争力強化
- 重要物流道路の役割

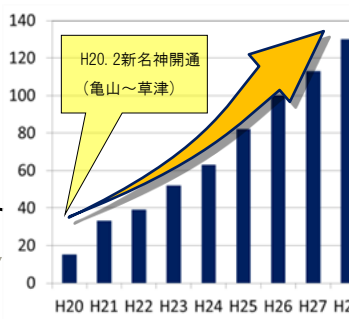
菰野IC周辺に工業拠点を計画

平成30年10月27日 全線開通



紅葉シーズンのピーク渋滞 L=5.5km

北勢地域の工場立地件数の推移



四日市港 新物流施設の整備 (平成29年5月竣工)



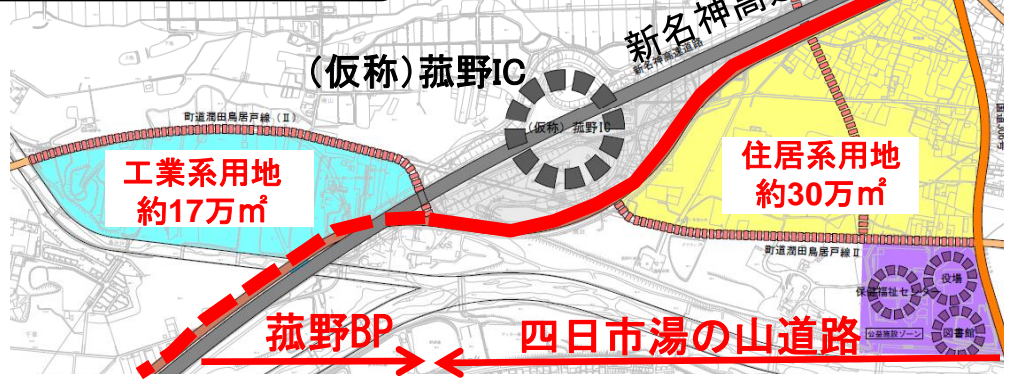
四日市港の整備と合わせクルーズ船誘致

平成30年度外国クルーズ船初寄港 (ダイヤモンドプリンセス他6回)



IC周辺に新しい工業系用地を造成し、地域経済の活性化に繋がります。

- 新名神(仮称)菰野IC西側隣接地 約17万㎡の工業系用地
- 事業主体は土地区画整理組合 平成29年7月30日に準備会を設立



湯の山温泉へのアクセスが向上し、インバウンド拡大が期待されます。

- ◆ “雪山”として大人気の御在所岳
- ◆ 平成30年度の開通に向けた官民の取組

改修総投資額 約15億円



御在所岳は中部国際空港から最も近い“雪山”として外国人観光客に人気です。

- 御在所岳山上公園のリニューアルオープン(H30.7.11) (新型ゴンドラの導入、レストランの新設)
- 山麓駅舎(エレベータ設置、登山用品店の出店)
- 御在所ロープウェイの駐車場整備
- 湯の山温泉開湯1300年の記念事業(温泉博覧会)
- 鈴鹿国定公園指定50周年
- 新たなアクセスルート(湯の山かもしか大橋)の完成
- 外国人観光客への支援
 → 宿泊施設の指認証「ゆびクーポン」の登録
 → Wifi、多言語案内板の整備、インバウンド研修会の開催

◆ アクセス向上による観光産業の活性化



湯の山温泉街へのアクセスとしてのダブルネットワークを構築する湯の山かもしか大橋は平成30年8月24日開通。温泉街への迂回路のない県道と国道を繋ぎ、渋滞の緩和、利便性の向上、災害時の安全性を確保する効果が見込まれる。四日市湯の山道路、菰野バイパスの整備とともに、温泉街へのアクセスとしての湯の山かもしか大橋の開通は、未来の地域・観光振興の道筋になる。

紅葉シーズンの渋滞の緩和が期待されます。



紅葉シーズンには現道の国道では5.5kmの渋滞が発生しており、観光客だけでなく生活道路として利用している地元住民の生活にも支障を来している。四日市湯の山道路、菰野バイパス、湯の山かもしか大橋の完成による渋滞緩和が大いに期待されている。